

おすすめグルメ

南京亭 川越店

今回は、私が訪問の途中や夕食で頻繁に立ち寄る大衆中華料理屋をご紹介します。このお店はチェーン店で、私の地元、東京都国立市でもよく通っていたお店です。写真はニラレバ炒めです。量が非常に多く、満足度は間違いなしです。



ニュース

新入職スタッフ（訪看・相談）

令和6年9月より、訪問看護スタッフと相談支援スタッフがそれぞれ1名ずつ新たに入職しました。これにより、訪問看護スタッフは8名（うち作業療法士2名）、相談支援スタッフは5名（うち1名は地域移行支援専従）となり、法人全体としては13名の体制となりました。

おすすめBOOK

【働くということ「能力主義」を超えて】 著者 勅使河原真衣

能力で人を選ぶことに対する問題提起と、働くという観点を見直す一冊。

他者と働くことの難しさについて、教育社会学の視点からアプローチし、現代社会に対してアンチテーゼを投げかけている。特に印象に残ったのは、組織のリーダーに関する言及である。「永遠の未完を認められることの方が、よほど魅力的なリーダーである」と指摘しており、リーダーシップは揺らぎのない固定的で屈強なものでもなくとも魅力的であると述べている。また、現場の人々に対しては、インプットよりもアウトプットの重要性が強調されている。「こういうふうにはやっていきたい」という意見を吐き出し、互いに耳を傾け、承認し合う行為が重要であるとされている。このプロセスが、より意味のある協働を生むことにつながる。

働くということ
「能力主義」を超えて

勅使川原真衣
Teshigawara Mai

学校や職場で常に「選び・選ばれる」わたしたち。教育社会学の知見をもとに組織開発の専門家と人と「機能」の組み合わせに着目する新たな仕事観

他者と働くこととはなぜこんなに難しいのか？

村上靖彦氏推薦！

著者は企業コンサルタントでありながら (!) 能力と選抜を否定する。本書は働く人の不安につけ込んで個人のスキルアップを謳う凡百のビジネス本とは一線を画する。

集英社新書

深谷太一弁護士 連載コラム⑧

【精神医療・福祉分野の人権②】



※引き続き、読者の皆様からの質問やご意見をお待ちしています。

「月号では、「障害」があるとされると、さまざまな面で社会参加が難しくなっていることを触れました。その中でも、今回は、働くことを通じた社会参加について考えてみました。

今年1月、裁判所が、就労継続支援B型(定型作業所)の工賃が、労働の対価とはいえないと判断したとの報道がありました。報道によると、利用者は、能力向上などのための訓練を受けていることがその理由のようです。

しかし、多くの場合、仕事は「能力向上」のための訓練」という要素があり、作業所での作業と区別できるのか疑問です。

障害者権利条約では、障害のある人も働きやすい職場で仕事をする権利が認められています。訓練(リハビリ)に重点を置き、同じ仕事なのに対価が低額な作業所しか選択肢のない状況は、このような権利と相反する指摘されています(一般的意見⑧号12段落)。

仕事は、お金を得るだけでなく、社会参加にもつながります。同条約により、すべての職場を障害のある人も働きやすい環境に変えていくことが求められています。